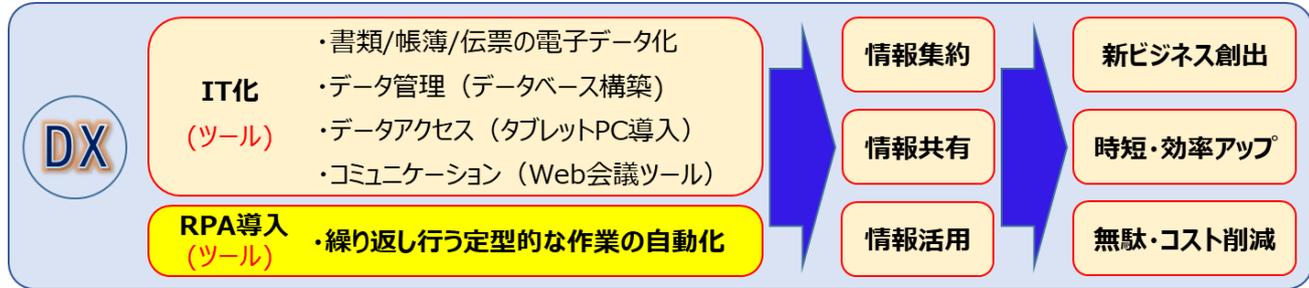


今回は、DXを推進するためのツールのひとつであるRPA(Robotic Process Automation)についてお伝えします。

## DXとは

- ◆デジタル技術によって、ビジネスや社会、生活の形・スタイルを変えることですが、単なるデジタル化ではなく、時代の変化に合わせてIT技術を選定・活用し、競争力を持った新たな業務プロセス・製品・ビジネスモデルを創出することです。
- ◆「IT化」との違い → 「IT化は、DXの手段のひとつ」  
IT化とは、既存の業務にデジタル技術を導入し効率化や付加価値を得ることです。一方、DXとは、単純にデジタル技術を導入するだけではなく「ビジネスモデル」「業務形態」「企業そのもの」を変革することです。

[DXのイメージ]



※ RPAの導入はDXそのものではありませんが、DXの推進に欠かせないツールのひとつです。

## RPAについて

### ◆RPAとは

人がPCで行っていた作業を記憶しロボットが自動で代行するソフトのことを指します。データの入力や転記、ファイルの複製といった単純作業の定型業務を自動化してくれるので、業務改善や働き方改革につながるとして大きな注目を集めています。PCを使った作業を、いつでも・何度でも・高速に・ミスなく・自動で処理できるようになれば、現場で働く人の負担が軽減されるだけでなく、経営面でもRPAツールの導入費用を上回るコスト削減効果を達成できます。

### ◆RPAの仕組み

最初にPC上で、ロボットに自動化させたい作業をRPAに記録します。フローチャート化された作業プロセスを、業務内容に応じてドラッグ&ドロップといった簡単な操作で編集し、ロボットを作成します。あとは、ロボットを実行するタイミングをスケジュール指定すれば、ロボットがその時間に人が画面操作するのと同じように、複数のアプリケーションやツールを操作して定型業務を実行します。

### ◆RPAできること (RPAを使って自動実行できる作業の例)

#### 1. データをまとめる・登録する

データファイルをいくつか入手した後、それらからデータを抜き出し、社内システムに登録したり、1つのファイルにまとめたりする作業を自動で処理できます。

#### 2. 数値が合っているか確認する

RPAツールを使うことで、ある数値が正しいかどうか確認する作業を自動化することができます。

#### 3. 通知やファイルを送る

一定の期限ごと、またはある条件を満たしたときに、通知やファイルを自動的に送信することができます。

### ◆RPA導入のメリット

RPAを導入することで、定型的で反復作業がともなう事務作業が自動化するので、・従業員満足度の向上・人的コストの削減・業務の精度とスピードの改善が図れます。

- ★RPAを使ってDXを推進するには、RPAで自動化できる業務を把握する必要があります。弊社でもRPAを導入し活用を始めていますが、例えばExcelへの転記やシステムからのデータの取得などで想定以上に反復作業が多いことが見えてきました。このような作業を自動化することで、大幅な業務効率の向上が図れると感じています。

DXの実現には時間がかかりますが、各種ツールをしっかりと活用して実現していくことが重要と考えています。